

平成26年度 宮城県仙台二華中学校・高等学校 学校評価の調査結果

宮城県仙台二華中学校・高等学校では、平成21年度より高大連携事業の一環として東北大学大学院教育学研究科・教育学部と協働し、学校経営改善に関わる調査研究を実施してきました。平成26年度学校評価の調査結果がまとまりましたので、その概要をご報告いたします。

学校評価の目的

学校評価の目的は、「学校の責務達成に向けて、自校の特色や児童生徒の成長の様子を確認しながら、学校としての機能をどの程度果たしているか、そのプロセスと結果について教職員・児童生徒・保護者・地域の人々による総合的な点検・評価を実施し、学校運営や教育活動の改善の手がかりとする」（宮城県教育委員会「学校の評価システムの確立に関する調査研究 第二次報告書」平成16年3月）ことです。

本校の学校評価の内容

- 実施時期：平成27年1月
- 調査対象：中学生・高校生・中学校保護者・高等学校保護者
- 調査項目：選択式。4件法（「そう思う」「大体そう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」）で実施
- 調査内容：宮城県教育委員会が指定する項目、学校独自の項目、学年独自の項目から構成

調査結果の概要

全学年を通して高い評価がなされています。中でも「疑問・質問に丁寧に指導」「有意義な学校行事」「学校生活は充実」は高い評価がなされています。

- ・中学生 上記3点に加えて「学習する内容を深く学べることで中高一貫校としてのメリットを感じる」の平均値が特に高い。
- ・高校生 上記3点に加えて「部活動は活発」の平均値が特に高い。
- ・中学生保護者 「有意義な学校行事」「お子様の学校生活は充実」「総合的な学習は進路意識を高める」の平均値が特に高い。
- ・高校生保護者 「有意義な学校行事」「お子様の学校生活は充実」の平均値が特に高い。

全般的にほとんどの項目で高い評価がなされています。学習に関わる項目ばかりではなく、部活動や学校行事などの項目でも高い評価がなされており、生徒の学校生活全体が充実している様子がうかがえます。高校3年生の独自質問項目「二華高に入ってよかった」では今年もきわめて高い評価がなされており、多くの生徒が高校生活に満足して卒業していくことが確認できました。

また新たに高校2年生が高入生・一貫生の混合クラスとなりましたが、高入生の保護者の方は「課外講習・夏季課外講習は大学受験に役立つ」、一貫生の保護者の方は「PTA活動は参加しやすい」をそれぞれ特に評価していただくなど、SGH採択を含めて学校の状況が移り変わっていく中で、仙台二華の多様な特色を評価していただいていることに御礼申し上げます。

生徒、保護者の方々からおおむね満足していただいている結果を大変うれしく思いました。今後とも学校運営や教育活動の改善に向けて一層の努力をいたします。今後ともよろしくご理解とご協力をお願い申し上げます。

以上